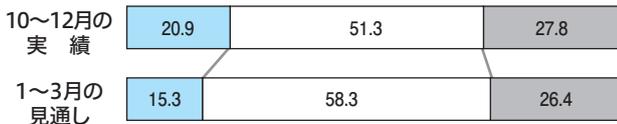


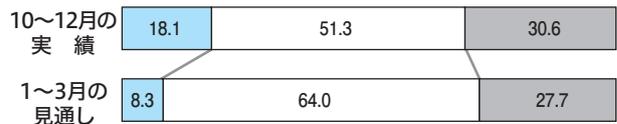
■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

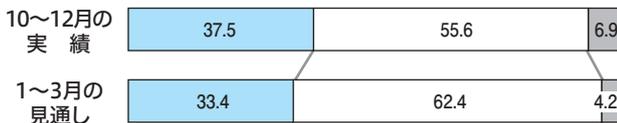
【業況】



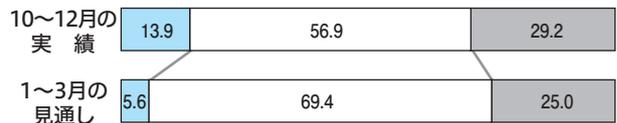
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△6.9、前期比20.9%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△12.5と前期比5.6%、収益判断D.Iが△15.3と同比4.1%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△20.8、前期比9.7%、同収益判断D.Iが△25.0、同比9.7%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△1.4と前期比1.4%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは4.2と前期比9.8%改善し、やや増加を示しています。

借入金の動きでは、「借入した」が22.2%（前期19.4%）、「予定あり」が11.1%（同13.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.3%（前期15.3%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「原材料高」がそれぞれ40.3%、「利幅の縮小」が26.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

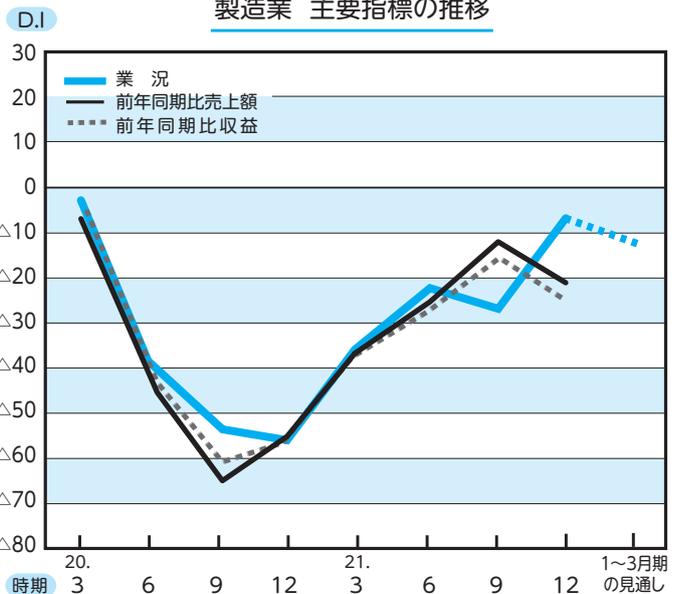
業況の見通し判断D.Iは△11.1、当期実績比4.2%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比6.9%、収益判断D.Iが同比4.1%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比4.2%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.8%、残業時間判断D.Iが同比8.4%ともに低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が59.7%、「販路を広げる」が44.4%、「人材を確保する」が26.4%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



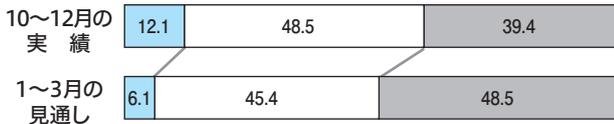
調査員のコメントから

受注状況安定。しかし、材料価格の上昇より一部商品の価格に転嫁しているものの、今後の業績に不安を残している。また、新型コロナウイルスの影響も拍車を掛けている。

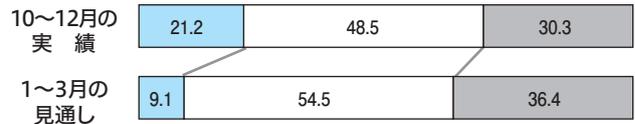
■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

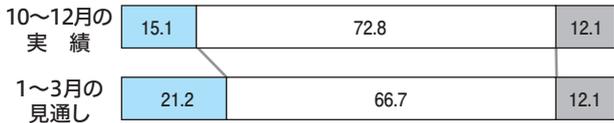
【業 況】



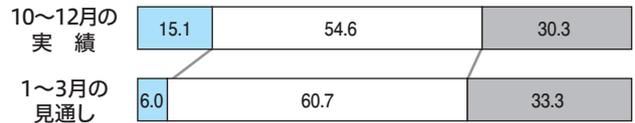
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△27.3、前期比15.1%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△9.1と前期比33.3%、収益判断D.Iが△15.2と同比24.2%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△15.2、前期比24.2%、同収益判断D.Iが△21.2、同比15.2%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが0.0と前期比3.0%低下し、人手不足感は適正を示しています。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比24.2%改善し、適性を示しています。

借入金の動きでは、「借入した」が12.1%（前期27.3%）、「予定あり」が12.1%（同6.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.1%（前期12.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が57.6%、「同業者間の競争激化」が30.3%、「取引先の減少」が21.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

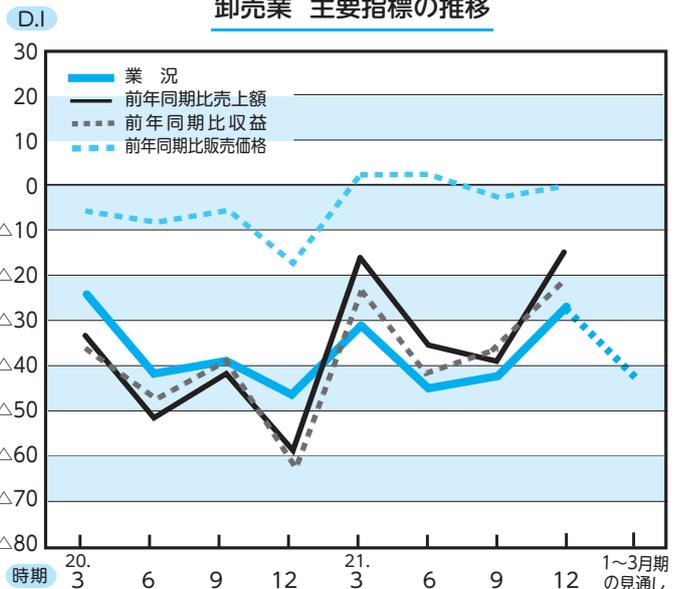
業況の見通し判断D.Iは△42.4、当期実績比15.1%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比18.2%、収益判断D.Iが同比12.1%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比3.0%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比6.1%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が63.6%、「経費の節減」が60.6%、「情報力の強化」が21.2%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



調査員のコメントから

作業場の衛生面管理を強化し、安全な商品提供を心掛けている。なお、在庫過剰の状況は解消に至っていない。

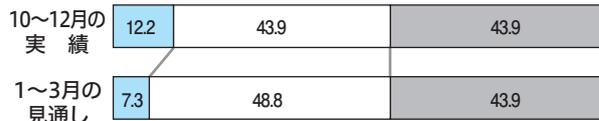
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

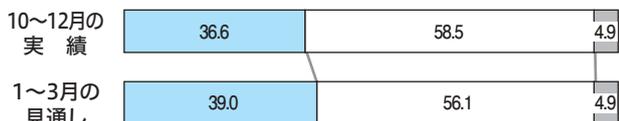
【業 況】



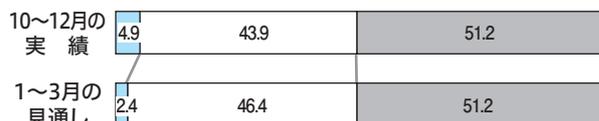
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△46.3、前期比2.5%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△31.7と前期比2.4%、収益判断D.Iが△46.3と同比9.7%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△46.3、前期比7.3%、同収益判断D.Iが△58.5、同比19.5%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△2.4と前期比2.5%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△4.9と前期比

9.7%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.5%（前期22.0%）、「予定あり」が12.2%（同14.6%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は7.3%（前期7.3%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が46.3%、「大型店との競争激化」が39.0%、「同業者間の競争激化」が34.1%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

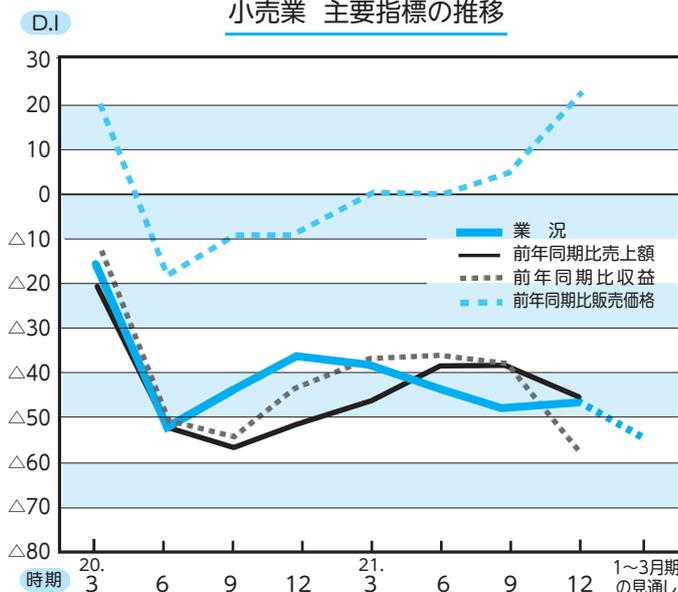
業況の見通し判断D.Iは△53.7、当期実績比7.4%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.9%、収益判断D.Iが同比2.5%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比4.9%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.5%低下、残業時間判断D.Iが同比4.9%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が61.0%、「品揃えを改善する」が24.4%、「宣伝・広告の強化」が22.0%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移

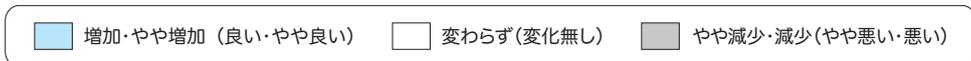
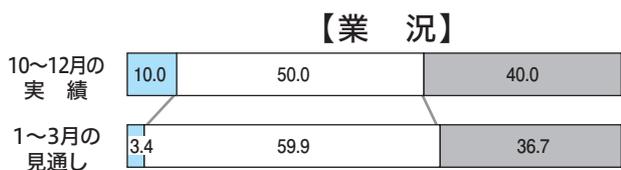


調査員のコメントから

原油価格の高騰により材料価格が上昇し利幅が縮小している。また、材料の入荷遅れ等も売上に影響を来している。

■ サービス業

回答企業数30企業(回答率96.8%)



景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△30.0、前期比2.3%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△13.3と前期比19.0%、収益判断D.Iが△20.0と同比12.3%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△6.7、前期比6.7%、同収益判断D.Iが△10.0、同比6.8%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△20.0と前期比7.1%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△3.3と前期比9.6%改善し、やや増加を示しています。

借入金の動きでは、「借入した」が6.7%（前期16.1%）、「予定あり」が6.7%（同6.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は10.0%（前期16.1%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が40.0%、「売上の停滞・減少」が30.0%、「人手不足」が20.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

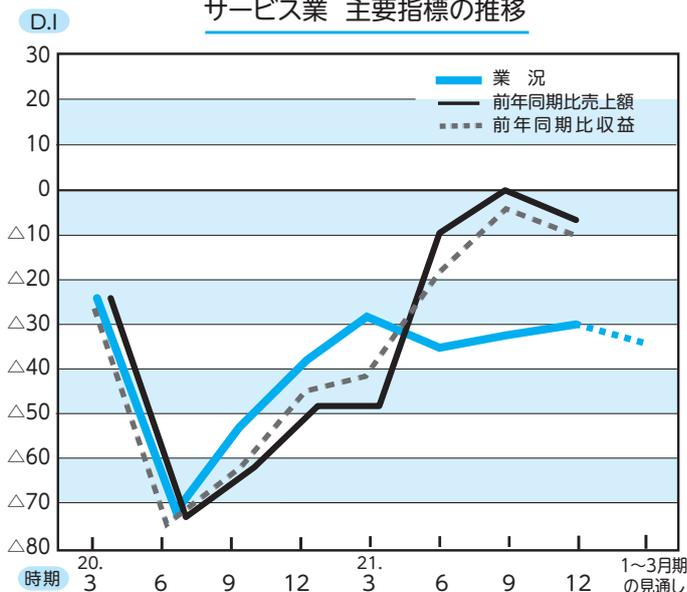
業況の見通し判断D.Iは△33.3、当期実績比3.3%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比10.0%、収益判断D.Iが同比3.3%ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比6.6%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.3%改善、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が46.7%、「販路を広げる」が43.3%、「宣伝・広告の強化」が30.0%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



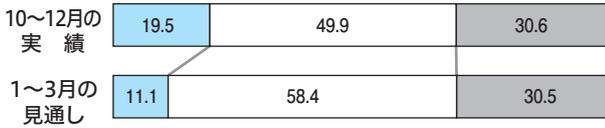
調査員のコメントから

長期宿泊客をターゲットとする業種であるが、新型コロナウイルスの影響は依然大きく、近隣企業の業績低迷により宿泊者が少ない。また、仕入先の倒産等もあり業績への影響が懸念される。

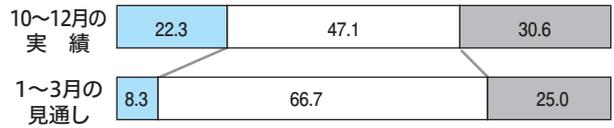
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

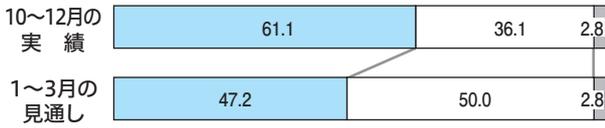
【業況】



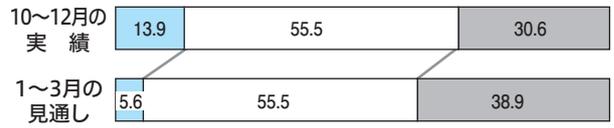
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比11.1%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△8.3と前期比11.1%、受注残判断D.Iが△16.7と同比5.5%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△8.3、前期比25.0%、同収益判断D.Iが△25.0、同比13.9%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△25.0と前期比5.6%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは2.8と前期比22.2%改善し、やや増加を示しています。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%(前期30.6%)、「予定あり」が13.9%(同25.0%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は11.1%(前期13.9%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が50.0%、「売上の停滞・減少」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ38.9%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

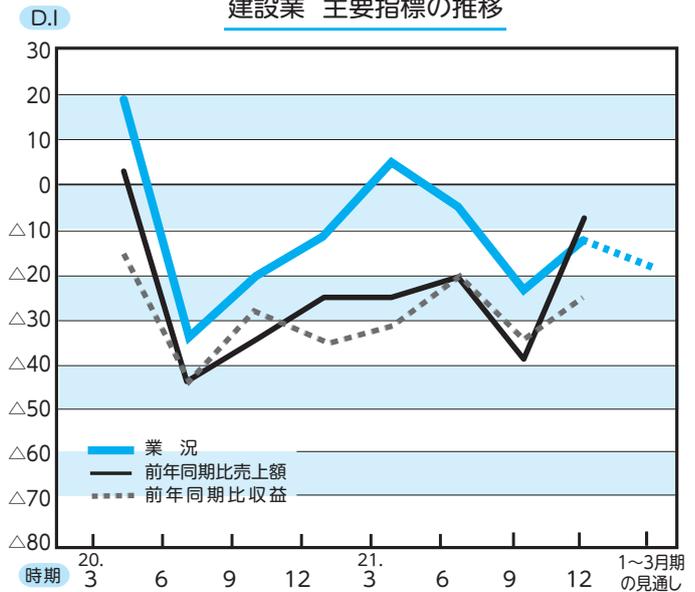
業況の見通し判断D.Iは△19.4、当期実績比8.3%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比8.4%、収益判断D.Iが同比16.6%ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比13.9%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.0%、残業時間判断D.Iが同比0.0%ともに横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が61.1%、「人材を確保する」が38.9%、「販路を広げる」が33.3%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



調査員のコメントから

ウッドショックにより材料費が上昇しており収益を圧迫している。また、若年層の従業員が少なく人材確保が課題である。

■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

【業況】

10~12月の実績	11.1	66.7	22.2
1~3月の見通し	11.1	61.1	27.8

【売上額】

10~12月の実績	16.7	72.2	11.1
1~3月の見通し	11.1	77.8	11.1

【仕入価格】

10~12月の実績	0.0	100.0	0.0
1~3月の見通し	0.0	100.0	0.0

【収益】

10~12月の実績	16.7	72.2	11.1
1~3月の見通し	5.6	83.2	11.2

■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比5.5ポイントの低下



項目別では、売上額判断D.Iが5.6と前期比16.7ポイント、収益判断D.Iが5.6と同比27.8ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが22.2、前期比22.2ポイント、同収益判断D.Iが0.0、同比11.1ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが0.0と前期比11.1ポイント改善し、人手不足感は適正を示しています。また、前期比残業時間D.Iは11.1と前期比5.5ポイント上昇し、やや増加を示しています。

借入金の動きでは、「借入した」が11.1% (前期

22.2%)、「予定あり」が22.2% (同22.2%) を示しています。

経営上の問題点では、「商品物件の不足」が44.4%、「大手企業との競争激化」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ33.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

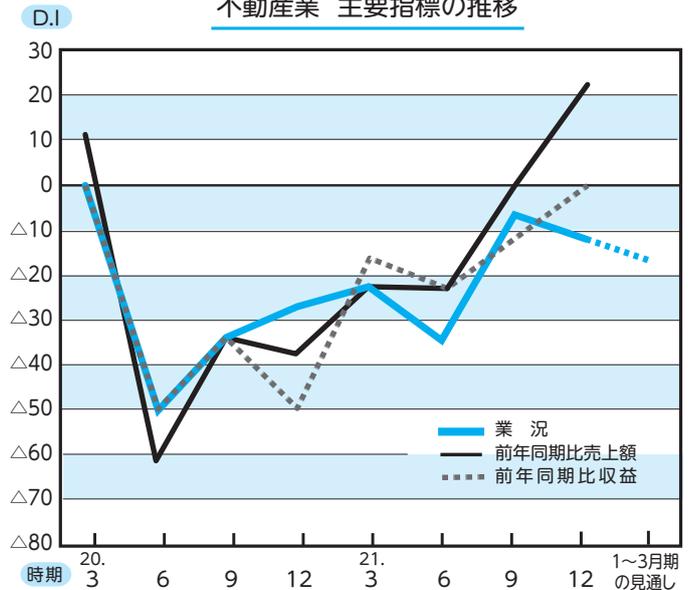
業況の見通し判断D.Iは△16.7、当期実績比5.6ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.6ポイント、収益判断D.Iが同比11.2ポイントともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比5.6ポイント、残業時間判断D.Iが同比5.5ポイントともに低下見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が61.1%、「情報力の強化」が44.4%、「経費の節減」・「宣伝・広告の強化」がそれぞれ33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響は軽微に抑えられており、長年の業歴と知名度や営業実績により売上回復に努めているが、商品物件が不足気味である。

特別
調査

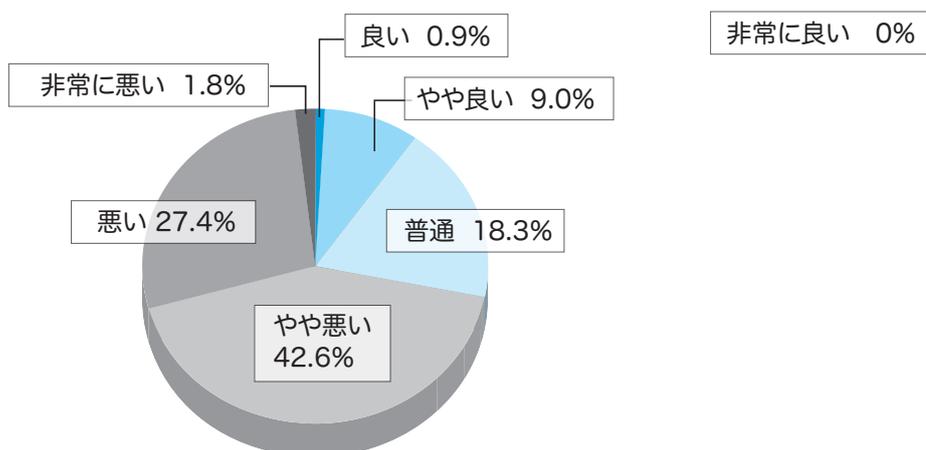
2022年(令和4年)の経営見通し

「2022年（令和4年）の経営見通し」について調査を実施しました。

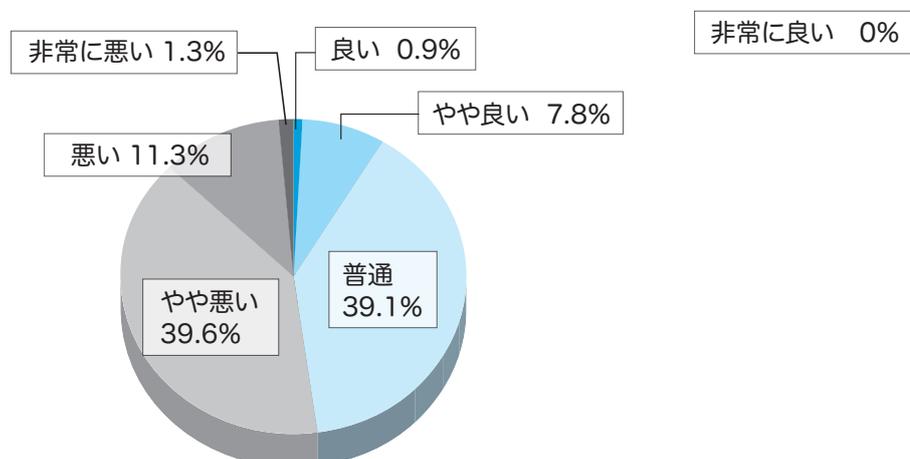
「日本の景気をどのように見通していますか」の質問に対し、「やや悪い」との回答が42.6%と最も多い結果となりました。また、「自社の業況（景気）をどのように見通していますか」の質問に対し、「やや悪い」との回答が39.6%と最も多い結果となりました。

そのほか、「2022年において貴社の売上額の伸び率は、2021年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか」を、次のように取り纏めました。

問1 貴社では、2022年の日本の景気をどのように見通していますか。

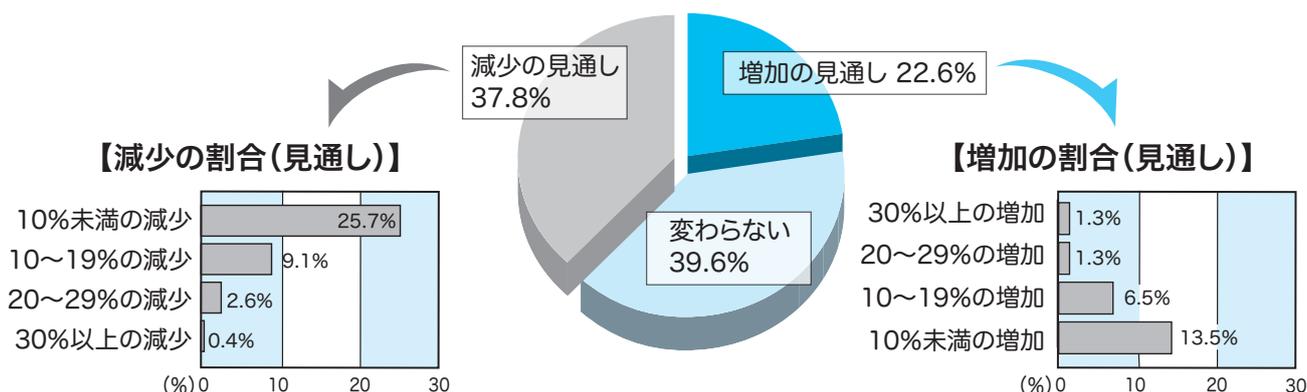


問2 貴社では、2022年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。



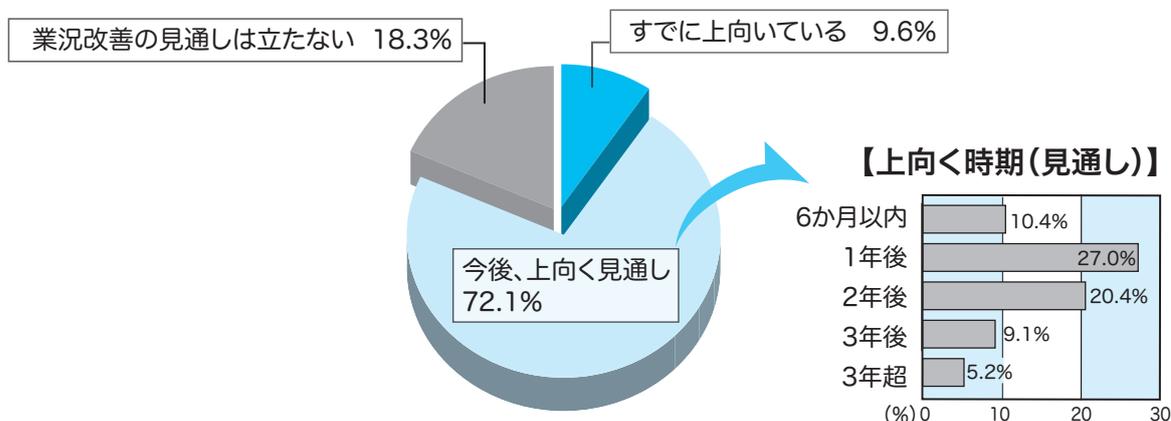
問3

2022年において貴社の売上額の伸び率は、2021年に比べておおよそのくらいになると見通していますか。



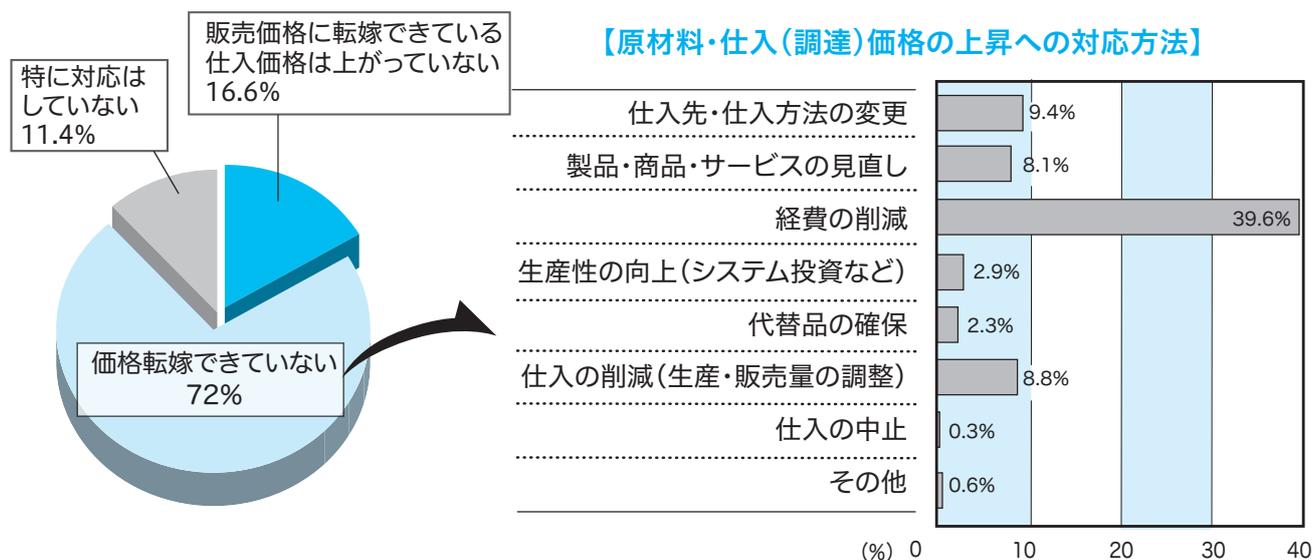
問4

貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5

様々な分野で原材料・仕入価格の上昇が経営上の問題となっていますが、貴社ではどのような対応を取っていますか。



明けましておめでとうございます

令和4年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
当金庫は本年5月26日創立120周年を迎えます。これからも
地域の皆さまとともに歩んでまいります。
変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結城信用金庫

理事長 石塚 清博



提携事業所にお勤めのみなさまへ

職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。



下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年 **1.50%**
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（下記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

ブライダルローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

カーライフプラン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

教育プラン

ご融資金額 500万円以内（*1）

ご利用期間 10年以内（*2）

子育て応援プラン

ご融資金額 100万円以内

ご利用期間 10年以内

リフォームプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

（*1）6年制大学の場合は1,000万円以内

（*2）6年制大学の場合は16年以内

商品の詳しい内容につきましては お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。
※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。
また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>